

# 学校施設長期保全計画の概要

## 現状と課題

本市の学校施設は、非木造施設約130万㎡のうち、築年数が20年以上の施設は、約90万㎡と全体の7割を占めており、老朽化が進んでいます。

こうしたストックが偏在している状況の中で高まる改築需要の抑制を図る必要があります。また、新学習指導要領等に基づく多様な学習内容や形態に対応した、高機能かつ多機能な施設環境の整備に加え、防災対策、バリアフリー化、普通教室やトイレ等のこどもたちの学習・生活空間の快適化、環境負荷の低減等の様々な配慮が学校施設には求められています。

改修による老朽化対策、教育環境の質的向上、環境対策を行う再生整備と予防保全を基本とし、長寿命化の推進による財政支出の縮減と平準化を図るために長期保全計画を策定します。

## 長期保全計画に基づく取組内容

●目標耐用年数：80年に設定します。

●グルーピング：

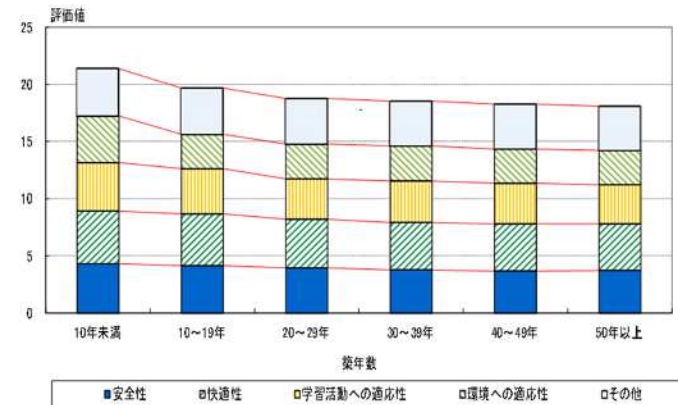
学校施設評価の結果、築年数が多くなると評価値が低くなることから、平成25年4月1日を基準として校舎と体育館を築年数に応じて3グループに分類します。

Aグループ：築20年以下（校舎39校・体育館37校）

Bグループ：築21年～30年（校舎36校・体育館90校）

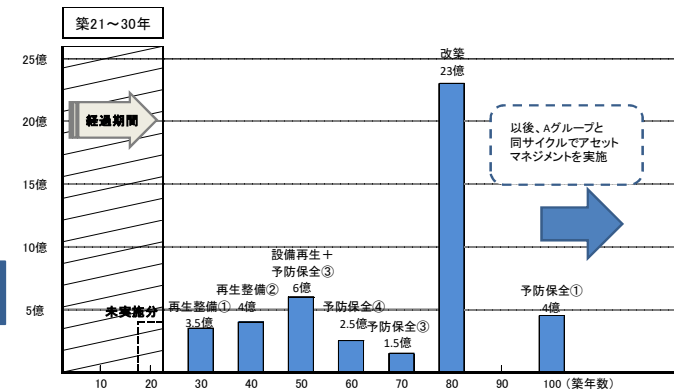
Cグループ：築31年以上（校舎98校・体育館48校）

●グループごとの今後の整備実施時期及び整備メニュー



## Bグループ

【校舎】  
※費用は6,000㎡を想定



再生整備①：防水・外壁補修、トイレ改修、エレベータ設置  
蓄電機能付太陽光発電設備等

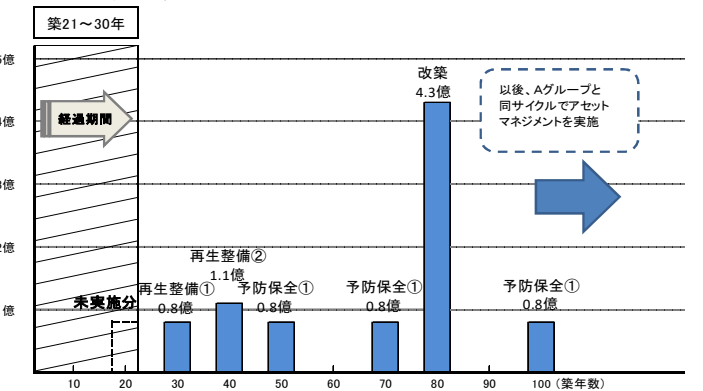
再生整備②：内装改修、断熱化等

設備再生：給排水設備・受変電設備改修等

予防保全③：防水・外壁補修、蓄電機能付太陽光発電設備等

予防保全④：内装・電気設備補修等

【体育館】  
※費用は改修800㎡、改築1,000㎡を想



再生整備①：屋根・外壁補修、照明改修等

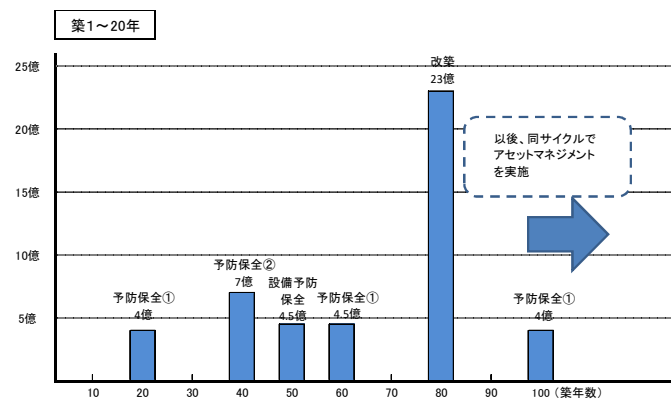
再生整備②：内装改修、断熱化、太陽熱利用システム等

予防保全①：屋根・外壁補修、照明改修等

※過年度未実施分の整備については、劣化度合いに応じて、営繕により対応します。

## Aグループ

【校舎】  
※費用は6,000㎡を想定

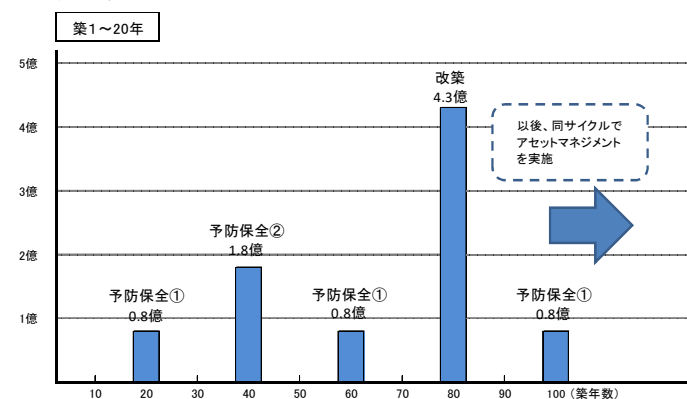


予防保全①：防水・外壁・内装・電気設備補修、エレベータ改修等

予防保全②：防水・外壁補修、内装改修、トイレ・エレベータ改修、断熱化、蓄電機能付太陽光発電設備等

設備再生：給排水設備・受変電設備改修等

【体育館】  
※費用は改修800㎡、改築1,000㎡を想

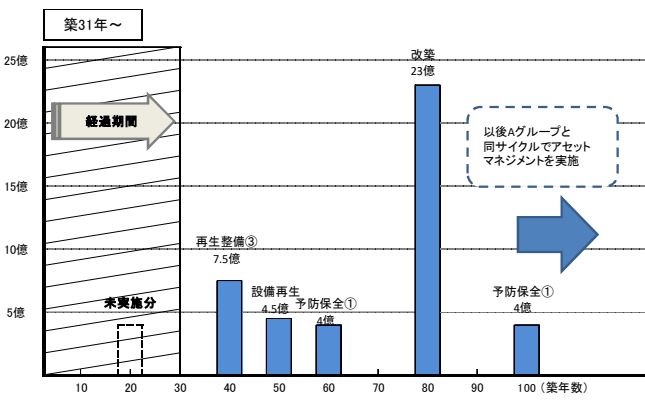


予防保全①：屋根・外壁補修、照明改修等

予防保全②：屋根・外壁補修、内装改修、照明改修、断熱化、太陽熱利用システム等

## Cグループ

【校舎】  
※費用は6,000㎡を想定



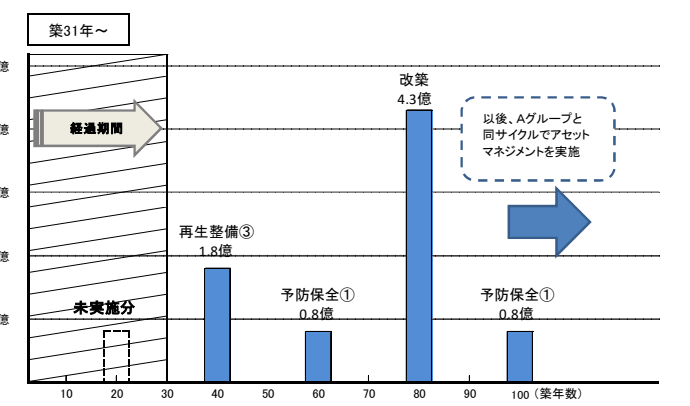
再生整備③：防水・外壁補修、トイレ改修、エレベータ設置、内装改修、断熱化、蓄電機能付太陽光発電設備等

設備再生：給排水設備・受変電設備改修等

予防保全①：防水・外壁・内装・電気設備補修、エレベータ改修等

※過年度未実施分の整備については、築後30年以上経過していることから、劣化度合いに応じて、計画的に内外装改修工事等を再生整備の前に実施します。

【体育館】  
※費用は改修800㎡、改築1,000㎡を想定



予防保全①：屋根・外壁補修、照明改修等

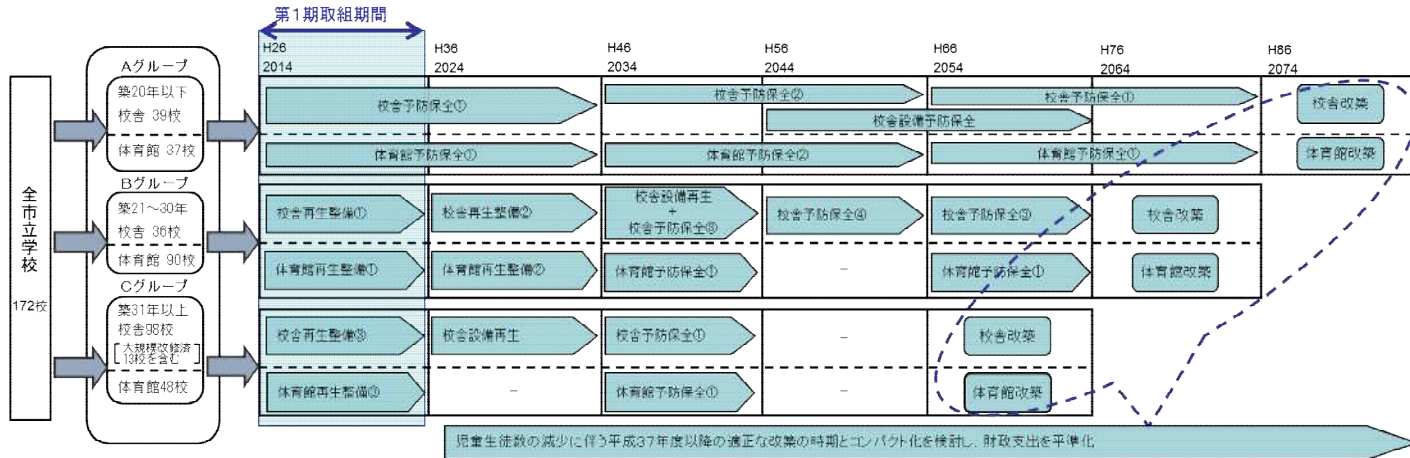
再生整備③：屋根・外壁補修、内装改修、照明改修、断熱化、太陽熱利用システム等

※過年度未実施分の整備については、築後30年以上経過していることから、劣化度合いに応じて、計画的に内外装改修工事等を再生整備の前に実施します。

## 第1期取組期間の実施方針

●平成26年度から概ね10年間で第1期取組期間とし、この間は、これまでの改築を中心とした手法に替えて、改修による再生整備と予防保全の併用を基本とし、学校施設の教育環境の改善と長寿命化の推進による財政支出の縮減を図ります。

●長寿命化が図られた学校施設が再び改築の時期を迎え、平成60年代から平成70年代に集中する財政支出の平準化を図るため、5～14才の年少人口が平成32年度にピークを迎え平成37年度から減少傾向に転ずることから、平成37年度以降の適正な改築の時期とコンパクト化を検討します。（平成52年に平成22年比で15%の人口減）  
【参考1】整備実施フロー図



【参考2】平成26年度～令和3年度設計着手校一覧

設計着手年度	Aグループ 20年以下 1年設計・1年工事		Bグループ 21年以上 1年設計・1年工事		Cグループ 31年以上 右図参照	
	校舎	体育館	校舎	体育館	校舎	体育館
平成26年度					東小田小学校	四谷小学校
平成27年度	京町小学校	京町小学校	夢見ヶ崎小学校	大島小学校	渡田小学校	梶ヶ谷小学校
	井田中学校	末長小学校	宮内中学校	大師中学校	夢見ヶ崎小学校	南野川小学校
平成28年度	西御幸小学校	小田小学校	新作小学校	田島中学校	渡田中学校	南河原小学校
	中野島中学校	中野島中学校	南菅小学校	住吉中学校	井田中学校	登戸小学校
平成29年度	小田小学校	中原小学校	西梶ヶ谷小学校	川中島小学校	宮前小学校	渡田中学校
	菅小学校	平間中学校	南原小学校	南大師中学校	川崎中学校	住吉中学校
平成30年度						
令和元年度						
令和2年度						
令和3年度						

## 学校施設長期保全計画におけるCグループ（築31年以上）のスケジュール

建物	校名	区	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
C3	渡田中学校	川崎区				設計										
	日吉中学校	幸区						工事	工事	工事						
	住吉中学校	中原区														
	中原中学校	中原区														
	福田中学校	多摩区														
	生田中学校	多摩区														
C4	東柿生小学校	麻生区														
	高津高校	高津区														
C5	藤崎小学校	川崎区														
	古川小学校	幸区														
	小倉小学校	幸区														
C6	久地小学校	高津区														
	東大島小学校	川崎区														
C7	田島小学校	川崎区														
	中原小学校	中原区														
C8	西生田小学校	多摩区														
	下小田中小学校	中原区														
C9	宮崎小学校	宮前区														
	向丘中学校	宮前区														
C10	三田小学校	多摩区														
	臨港中学校	川崎区														
C11	白幡台小学校	宮前区														
	向小学校	川崎区														
C12	南百合丘小学校	麻生区														
	有馬小学校	宮前区														
C13	宮崎台小学校	宮前区														
	宿河原小学校	多摩区														
C14	千代ヶ丘小学校	麻生区														
	虹ヶ丘小学校	麻生区														
C15	浅田小学校	川崎区														
	犬蔵小学校	宮前区														
C16	長沢小学校	麻生区														
	南生田小学校	多摩区														
C17	宮前平中学校	宮前区														
	平小学校	川崎区														
C18	有馬中学校	宮前区														
	南生田中学校	宮前区														
C19	西有馬小学校	川崎区														
	鷺沼小学校	宮前区														
C20	菅中学校	多摩区														
	長沢中学校	麻生区														
C21	犬蔵中学校	宮前区														
	白鳥中学校	麻生区														
C22	下布田小学校	多摩区														
	幸町小学校	幸区														
C23	王禅寺中央中学校	麻生区														

児童増加に伴い校舎増改築を検討→校舎増改築をする場合、それにあわせて体育館を整備